

整えて持って来ていただきました。まずは、よく叩いて扱いやすくしてあるわらで1人2つ作って練習します。慣れるまでは、なう作業そのものが大変難しく、輪になる部分を形作る工程まで友だちと協力してより合わせていましたが、慣れてくると、1人でなうことができるようになってきました。その後は、「実しらず」と呼ばれる青いわらで本番用を作っていました。しかし、利き手側と反対になっていくのはとても難しく、校長をはじめ苦戦していた人もいました。西山定明さん、福島喜代治さん、福島史利さん方のお力添えて、何とかみんな無事完成しました。

手作りのおかざりが明るい新年を運んでくれることでしょう。3人の講師の先生方には、事前準備から当日のご指導まで大変お世話になり、ありがとうございました。



箏発表会

5・6年生は、毎年特別非常勤講師の方から5時間ずつ箏の指導をしていただいています。したがって、5年生にとっては初めて、6年生にとっては2年目ということになります。今年の曲はともに「さくら」でしたが、学年によって難易度が違います。2部のパートに分かれて奏でていくのは同じですが、経験のある6年生にはトレモロやソロパートなども入り、ハイレベルな編曲になっていました。しかしながら、5・6年生ともわずか5時間の練習で「よくぞここまで」と思えるほどの上達ぶり。

この日は、来年箏学習を体験する4年生が5・6年生の発表を一緒に聴きました。どの学年の子どもたちも、目の前で奏でられる箏の音色にひきこまれるように聴き入っていました。4・5年生は、来年の箏学習が一段と楽しみになったようです。

